

公益信託世田谷まちづくりファンド

第24回助成事業 審査講評

10代まちづくり部門

<5-1 hidamaru>

- ・女子学生3名による「子ども食堂」の提案でしたが、地域の野菜を中心に使用した地産地消に興味を惹かれました。食堂の設立から運営など、制度設計は今一分かりませんが、面白そうな企画と若い力、発想力に期待しています。社会福祉協議会など、実践している団体の取組みなどを参考に、今後具体化に向けて精査してください。
- ・いろいろなところへ取材に行くのはとてもよいことです。取材計画をしっかりとてて成果を生かしてほしいと思います。そのうえで、いつどこでだれを対象に会食を催すのか、協力者はいるのか、みなさんの試みをどんなことにつなげたいのか、ぜひとも議論をつくしてください。
- ・10代のうちから、自分たちよりももっと若い、もっと弱い立場にある人のことを考えられる心は本当に素晴らしいと思いました。小さくてもいいから、ぜひ活動を始めてみて下さい。大きく構えずに、小さなことを積み重ねることで、きっと地域の人たちの信頼も得られると思います。皆さんだからこそできる、瑞々しい息の長い活動を期待しています。
- ・応募用紙だけでは読み取るのが難しかったのですが、審査の場のやり取りと併せて、将来の子どものための食堂の開設に向けた、視察・調査・研修が今年度の活動のメインであると理解できました。テーマとしてとても重要なものであり、プレゼンにおいても強い熱意が感じられ、応援したいと考えました。順調に行けばなによりですが、思い描いていたように活動が進まないかも知れません。そんな時は自分たちだけで抱え込まずに、今後自分たちとともに歩んでくれそうな様々な人たちを探し繋がることを目指してほしいです。世田谷には頼りがいのある先輩たちが沢山いますよ。